

博報堂生活総合研究所「お金に関する生活者意識調査」結果 続報を発表

お金と幸せの関係についても、分かれる生活者の価値観。

[お金と幸せの関係]

お金を使わなくても幸せになれる **60%** VS お金を使わないと幸せになれない **40%**

[お金を使う相手]

お金は自分のために使いたい **53%** VS お金は誰かのために使いたい **47%**

今、お金にまつわる環境は、電子マネーや仮想通貨といった新しいお金の誕生や、個人が直接取引できるサービスの登場などで急速に変化しています。

そこで、博報堂生活総合研究所はこうした環境下における生活者のお金に関する価値観や態度を把握するため、全国 20～69歳の男女を対象に「お金に関する生活者意識調査」を実施しました。本リリースでは、前回発表(2017.12.15)の調査結果の続報として、一様ではない生活者のお金観や暮らしの様々な物事に対する損得感をご紹介します。

「お金に関する生活者意識調査」のポイント

お金に関する価値観

お金を使わずとも幸せ 60% vs お金を使って幸せ 40%
お金は自分のために 53% vs お金は誰かのために 47% ...

- ・「お金を使わなくても幸せになれる」と考える人は60.4%で「お金を使わないと幸せになれない」の39.6%を上回ります。しかし、お金を使わずとも幸せ派は年代が上がるにつれ増加傾向にあるなど、一様ではありません。特に、お金を使わずとも幸せ派が最も多い男性60代(72.2%)と最も少ない男性20代(49.1%)の差は23.1ポイントと大きく開いています。
- ・「お金は自分のために使いたい」(53.2%) vs 「お金は誰かのために使いたい」(46.8%)は、ほぼ半々。生活者の価値観が真っ二つに分かれています。
- ・また、「誰からもらうかでお金の価値は“変わらない”」(58.0%)に対して、“変わる”(42.0%)という真逆の価値観を持つ人も一定層います。同様に、「人のために使ったお金は将来何らかのかたちで“返ってくる”」(65.9%)についても、対立する“返ってこない”(34.1%)という価値観も共存。生活者のお金観は様々に分かれ始めています。

暮らしの損得

「電子マネー」「クレジットカード」の方が「現金」よりも“損”だと思ふ。
「離婚」は“損”、「結婚」「恋愛」は“得”だと思ふ人が大多数。

[払の損得]

- ・「電子マネー」「クレジットカード」の方が「現金」よりも“損”だと思ふ人が多くなっています。なかには「キャッシュレスだと使い過ぎる」と思っている人もいますようです。
- ※参考: 2017.12.15既報リリース「キャッシュレス社会」に賛成49%：反対51%

[愛の損得]

- ・「離婚」は“損”だと思ふ人が大多数(84.9%)。逆に、「結婚」と「恋愛」は“得”が7割超えで多くなっています。
- ・「離婚」には感謝料や養育費など支払い義務のあるお金が付き物だったり、精神的なダメージもあるため“損”が多いのでしょうか。

※ [交の損得] [住の損得] [働の損得]についても聴取(詳細は3～4ページ)

お金の使わずとも幸せ 60% vs お金を使って幸せ 40%
 お金は自分のために 53% vs お金は誰かのために 47% ...

- 「お金を使わなくても幸せになれる」と考える人は60.4%で「お金を使わないと幸せになれない」の39.6%を上回ります。しかし、お金を使わずとも幸せ派は年代が上がるにつれ増加傾向にあるなど、一様ではありません。特に、お金を使わずとも幸せ派が最も多い男性60代(72.2%)と最も少ない男性20代(49.1%)の差は23.1ポイントと大きく開いています。
- 「お金は自分のために使いたい」(53.2%) vs 「お金は誰かのために使いたい」(46.8%)は、ほぼ半々。生活者の価値観が真っ二つに分かれています。
- また、「誰からもらうかでお金の価値は“変わらない”」(58.0%)に対して、“変わる”(42.0%)という真逆の価値観を持つ人も一定層います。同様に、「人のために使ったお金は将来何らかのかたちで“返ってくる”」(65.9%)についても、対立する“返ってこない”(34.1%)という価値観が共存。生活者のお金観は様々に分かれ始めています。

Q 次におけるお金や消費に関する意識や態度は、あなたご自身にあてはまりますか。それぞれ、近い方をお選びください(各、単一回答)

お金を使わなくても幸せになれる

お金を使わないと幸せになれない



	全体	男性					女性					Max-Minの差
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
お金を使わなくても幸せになれる	60.4	49.1	51.5	59.1	57.6	72.2	52.2	59.8	58.8	65.3	71.7	23.1
お金を使わないと幸せになれない	39.6	50.9	48.5	40.9	42.4	27.8	47.8	40.2	41.2	34.7	28.3	

性年代別の最高値(Max)に濃いグレー・最低値(Min)に薄いグレーで色づけ

お金は自分のために使いたい

お金は誰かのために使いたい



	全体	男性					女性					Max-Minの差
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
お金は自分のために使いたい	53.2	62.3	52.6	54.4	53.7	52.8	55.1	50.5	55.0	48.7	48.9	13.6
お金は誰かのために使いたい	46.8	37.7	47.4	45.6	46.3	47.2	44.9	49.5	45.0	51.3	51.1	

性年代別の最高値(Max)に濃いグレー・最低値(Min)に薄いグレーで色づけ

誰からもらうかでお金の価値は変わらない

誰からもらうかでお金の価値は変わる



	全体	男性					女性					Max-Minの差
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
誰からもらうかでお金の価値は変わらない	58.0	56.9	60.0	57.4	62.9	60.4	52.6	52.9	56.2	56.0	62.5	10.3
誰からもらうかでお金の価値は変わる	42.0	43.1	40.0	42.6	37.1	39.6	47.4	47.1	43.8	44.0	37.5	

性年代別の最高値(Max)に濃いグレー・最低値(Min)に薄いグレーで色づけ

人のために使ったお金は将来なんらかのかたちで返ってくる

人のために使ったお金は将来どんなかたちでも返ってくることはない



	全体	男性					女性					Max-Minの差
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
人のために使ったお金は将来なんらかのかたちで返ってくる	65.9	60.5	62.1	66.0	63.8	60.9	68.8	72.1	70.1	68.6	65.9	11.6
人のために使ったお金は将来どんなかたちでも返ってくることはない	34.1	39.5	37.9	34.0	36.2	39.1	31.3	27.9	29.9	31.4	34.1	

性年代別の最高値(Max)に濃いグレー・最低値(Min)に薄いグレーで色づけ

「電子マネー」「クレジットカード」の方が「現金」よりも“損”だと思う。
「離婚」は“損”、「結婚」「恋愛」は“得”だと思う人が大多数。

[払の損得]

・「電子マネー」「クレジットカード」の方が「現金」よりも“損”だと思う人が多くなっています。なかには「キャッシュレスだと使い過ぎる」と思っている人もいます。※参考: 2017.12.15既報リリース [「キャッシュレス社会」に賛成49%：反対51%]

[愛の損得]

・「離婚」は“損”だと思う人が大多数(84.9%)。逆に、「結婚」と「恋愛」は“得”が7割を超えて多くなっています。

[交の損得]

・「子ども関連のつきあい」で“損”(56.0%)が“得”を上回るものの差は小さく、どのつきあいも損得は、ほぼ半々となりました。

次にあげる事柄について、“損”だと思いますか。“得”だと思いますか。あなたのお考えに近い方をお選びください(各、単一回答)

払の損得

■ “損”だと思う ■ “得”だと思う



“損”だと思う(性別・性年代別)

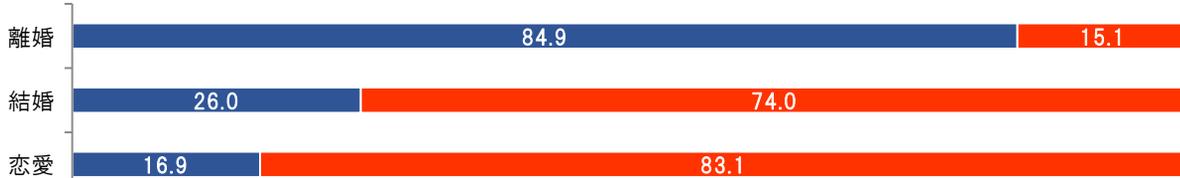
(%)

	全体	男性	女性	男女差	男性					女性					Max-Min の差
					20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
電子マネー	30.2	28.7	31.7	3.0	24.9	25.6	28.8	27.0	35.4	41.2	32.7	29.9	28.0	29.8	16.3
クレジットカード	28.9	29.4	28.4	1.0	29.5	31.2	27.2	29.2	30.3	39.0	24.9	26.1	30.0	25.4	14.1
現金	21.3	23.2	19.4	3.8	26.0	26.5	22.3	21.9	20.5	19.5	22.2	18.7	19.9	17.4	9.1

男女別でスコアが高い方にグレーで色づけ。性年代別の最高値(Max)に濃い青・最低値(Min)に薄い青で色づけ

愛の損得

■ “損”だと思う ■ “得”だと思う



“損”だと思う(性別・性年代別)

(%)

	全体	男性	女性	男女差	男性					女性					Max-Min の差
					20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
離婚	84.9	86.2	83.5	2.7	87.9	84.1	86.5	84.6	87.9	86.8	83.2	82.9	77.9	87.2	10.0
結婚	26.0	27.2	24.8	2.4	30.2	30.9	32.3	25.0	18.4	23.2	21.9	33.9	26.1	17.7	16.2
恋愛	16.9	18.0	15.8	2.2	20.6	21.2	20.7	11.8	15.9	18.0	16.8	19.4	13.4	11.9	9.4

男女別でスコアが高い方にグレーで色づけ。性年代別の最高値(Max)に濃い青・最低値(Min)に薄い青で色づけ

交の損得

■ “損”だと思う ■ “得”だと思う



“損”だと思う(性別・性年代別)

(%)

	全体	男性	女性	男女差	男性					女性					Max-Min の差
					20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
子ども関連のつきあい	56.0	57.2	54.8	2.4	60.9	58.8	57.0	56.7	54.0	59.2	54.7	57.8	58.3	45.8	15.1
地域関連のつきあい	50.1	50.1	50.2	0.1	57.3	53.5	52.6	47.5	41.7	58.5	52.9	50.9	51.8	40.4	18.1
会社関連のつきあい	49.0	47.8	50.2	2.4	49.1	48.5	49.5	48.6	43.7	51.1	48.6	51.7	51.5	48.2	8.0

男女別でスコアが高い方にグレーで色づけ。性年代別の最高値(Max)に濃い青・最低値(Min)に薄い青で色づけ

[住の損得]

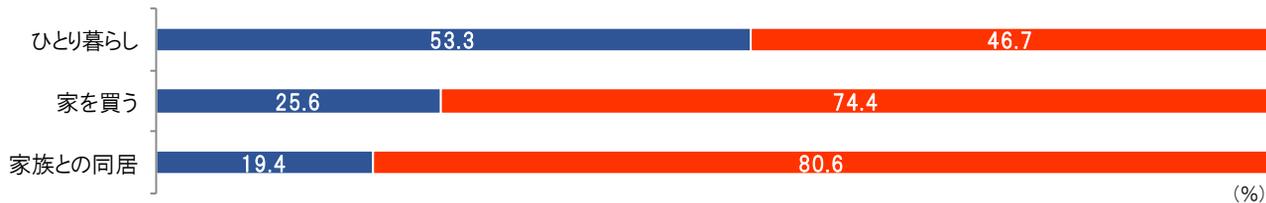
- ・「ひとり暮らし」は“損得”が半々、「家族との同居」は“得”が80.6%です。家族との交流や互助なども“得”と捉えているのでしょう。
- ・また、“損”だと思える人は「ひとり暮らし」と「家を買う」で男性、「家族との同居」で女性が多くなっています。

[働の損得]

- ・「起業」「転職」を“損”だと思える人が4割います。新たな仕事や職場へのリスクを感じているのかもしれません。
- ・男女別でみると、「起業」は女性(特に20代)、「転職」「副業」は男性(特に60代)で“損”だと思える人が多くなっています。

住の損得

■ “損”だと思える ■ “得”だと思える



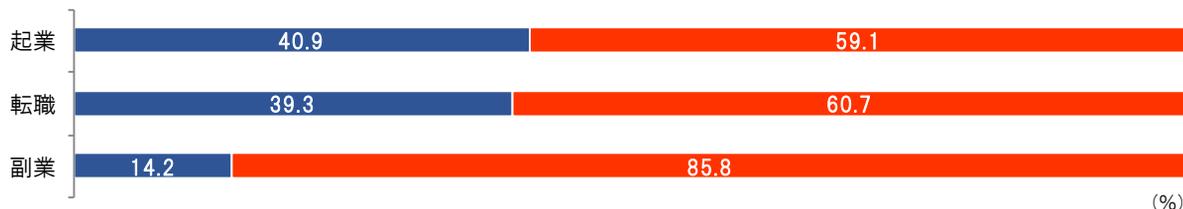
“損”だと思える(性別・性年代別)

	全体	男性	女性	男女差	男性					女性					Max-Min の差
					20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
ひとり暮らし	53.3	56.0	50.6	5.4	37.0	47.4	56.7	62.1	70.5	43.8	51.1	46.7	53.2	56.4	33.5
家を買う	25.6	27.7	23.4	4.3	24.9	27.9	30.5	29.5	25.0	22.8	18.0	26.5	26.6	22.0	12.5
家族との同居	19.4	16.5	22.3	5.8	19.9	18.5	16.5	14.6	14.1	28.7	31.2	23.5	17.4	14.0	17.2

男女別でスコアが高い方にグレーで色づけ。性年代別の最高値(Max)に濃い青・最低値(Min)に薄い青で色づけ

働の損得

■ “損”だと思える ■ “得”だと思える



“損”だと思える(性別・性年代別)

	全体	男性	女性	男女差	男性					女性					Max-Min の差
					20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
起業	40.9	38.1	43.6	5.5	38.1	36.8	39.1	39.9	36.6	49.6	42.6	43.4	44.3	40.2	13.0
転職	39.3	41.5	37.1	4.4	35.6	32.6	45.3	43.3	47.5	29.8	36.0	34.4	38.4	44.3	17.7
副業	14.2	16.4	12.0	4.4	15.3	14.4	18.1	15.2	18.2	11.8	9.3	13.5	11.2	13.3	8.9

男女別でスコアが高い方にグレーで色づけ。性年代別の最高値(Max)に濃い青・最低値(Min)に薄い青で色づけ

お金に関する生活者意識調査

調査地域 全国

調査対象 20～69歳の男女 3,600人

男性1,803人(20代 281人、30代 340人、40代 430人、50代 356人、60代 396人)

女性1,797人(20代 272人、30代 333人、40代 422人、50代 357人、60代 413人)

調査手法 インターネット調査

調査期間 2017年11月16日(木)～11月20日(月)

企画分析 博報堂生活総合研究所

実査集計 株式会社 東京サーベイ・リサーチ